

夢窓幼稚園通信第1号

2016年 4月 4日



また春がきて 街の中は花盛りです。
園庭でも、ほらこんなに花が咲いています。いつもより早く
つるぎきょうの紫色、チューリップも高く明るく、スノードロップは
白色に愛らしい模様、すみれに三色すみれも色とりどり、
桜花よ今年も どうもありがとう！です。お隣からは沈丁花の
香りも流れてきました。
そうですね、風がすっかり新しい時の始まりを伝えてくれて
いるのですから……



街中、夢の国のいたるところで、様々ないのちの“ぐーんと両腕を
伸ばしたような”表現が見られるはずですよ。
鳥が次々とやってきます。常連さんのつがいのおハト、休みの日には
スズメの大家族、目の回りが白からメジロでしょうか？ 素敵に見事な
声で啼く小鳥、間もなく南の国からツバメたちが姿を見せることでいう。
地水火風の働きの中で、新しい春夏秋冬のはじまりの時が 今
用意されました。
変わるとなく繰り返される季節の営みに誘われて、花や小鳥も
ダンゴムシも……、いっしょになって季節の風景を描き出します。



私たちも その風景の中を 毎年いっしょになって生きられるのですから
何という幸せなことでしょう！
そのよろこびは、繰り返されることに対する共感であり、安心感であり、
いのちの共有から生まれてくる一体感のような気分や、与えられているそれ
ぞれの「いのち」のそれぞれも根源につながっていくような、どこか懐かしさ……の
ような感情です。



さあ、いのちあふれる春が今年もやってきました。
しかし同時に一回限りの今年ならではの「春」がやってきたのです。
新しい特別な春に、新しい私たち一人ひとりが生きています。
これから目の前に現れる風景やドラマは、どんなのでしょうか。未知な世界です。
はじめてのこと、同じように見ながら新しいこととしてやってくる世界に、ひとつ
ひとつ心を動かしながら向かっていきたいと思います。
わくわくだけでなく、漠然とした不安やたくさんのドキドキもあることでしょう。
笑顔や成果と共に、泣きたくることやつまずき……もあるかも
しれません。



そこに込められた意味やチャンスや可能性を、また新たな出発の時に
私たち一人ひとりが一歩いっぽ脚を踏み出すことで作っていきたいと思います。
お互いの出会いや、見守りや寄り添い、共に心や力を合わせることを
大切にしながら……

皆さま 今年の一年もどうぞよろしくお願いします。

4月1日の朝に
園長 弁光泰雄